

## 「2010 センサー 物理Ⅰ＋Ⅱ」の訂正について

本書には次のところに誤りがございます。深くお詫び申し上げますと共に、下記のように訂正の上、ご使用いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

(株) 新興出版社啓林館編集部

ページ	箇所	誤	正
26	39	(物理Ⅱの学習範囲を扱った内容です。)	(問題にⅡマークをつけます。)
39	61	(問題文に条件を追加します。)	空気抵抗は無視できるものとする。
54	98	静摩擦係数を 0.4	静止摩擦係数を 0.4
55	①	s [m] : 変位	s [m] : 変位の大きさ (移動距離)
58	例題 19(2)	(1)の力のする仕事	コースターが高さ $h$ の所から最下点を通過するまでの間に、(1)の力のする仕事
79	148	重力加速度を $g$ [m/s <sup>2</sup> ]	重力加速度の大きさを $g$ [m/s <sup>2</sup> ]
88	158(1)	定常波の節の波長	定常波の波長
103	175(3)	おんさの振動数を変える	振動数の異なるおんさに取りかえる
105	183	弦の一端を電磁おんさにつなぎ、…電磁おんさの振動数を 150Hz にして振動	弦の一端を振動数が 150Hz の電磁おんさにつなぎ、…電磁おんさを振動
135	227	【斜方投斜と自由落下】	【斜方投射と自由落下】
151	251 ヒント	(張力) $\geq 0$ として考える。	(張力) $\geq 0$ として考える。
159	例題 60 別解	①, ③より,	②, ③より,
159	例題 61 解	$v'$ [m]	$v'$ [m/s]
171	8の答え	$-4.0 \times 10^{-2} \text{J}$ , $4.0 \times 10^2 \text{J}$	$-4.0 \times 10^{-2} \text{J}$ , $4.0 \times 10^2 \text{J}$
211	③図	Q点より P点の電位が高い	P点より Q点の電位が高い
236	409	$\Delta I$ だけ変化しとき	$\Delta I$ だけ変化したとき
264	460(2)	光子が電子に与えたエネルギーを	光子のエネルギーを
299	389 (4)	$2.5 \times 10^3 \pi t$	(「 $2.5 \times 10^3 t$ 」として、 $\pi$ を取ります (計2箇所。))
<b>別冊解答編</b>			
5	15 側注	グラフの傾きが速度を示す。	グラフの傾きが加速度を示す。
13	34(4)	$y = v_{0y}t - \frac{1}{2}gt$ より,	$y = v_{0y}t - \frac{1}{2}gt^2$ より,
15	38(3)	距離 $\frac{L}{2}$ 進む	距離 $\frac{L}{2}$ を進む
20	54(2)	(0.20Nの摩擦力が図にありません。)	(斜面に平行で斜面上向きに摩擦力を追加)
35	2	$P = \frac{W}{t} = \frac{Fs}{t} = \frac{mgt}{t}$	$P = \frac{W}{t} = \frac{Fs}{t} = \frac{mgs}{t}$
38	111(3)	(式中) $\frac{1}{2}k \times 0^2$	$\frac{1}{2}k \times 0^2$ (※ $k$ の指数を取ります。)
40	117(2)	(式中) $= \mu' mg (x+d)$ $= \mu' mg$	$= -\mu' mg (x+d)$ $= -\mu' mg$
46	141(3)	$\mu mg \cos 180^\circ = -\mu mgb$	$\mu mgb \cos 180^\circ = -\mu mgb$
74	215(4)	$\frac{V(V-u_0)}{(V-u)(V+u_0)} f_0 = \frac{V}{(V+u)} f_0 = 0$	$\frac{V(V-u_0)}{(V-u)(V+u_0)} f_0 = \frac{V}{(V+u)} f_0 = 0$

87	245	$\frac{1}{2} m\omega^2 = \frac{1}{2} m\omega^2 + \frac{1}{2} M\omega^2 \dots\dots②$	$\frac{1}{2} m\omega^2 = \frac{1}{2} m\omega^2 + \frac{1}{2} M\omega^2 \dots\dots②$
		$\frac{1}{2} m\omega^2 = \frac{1}{2} m(\nu_0 - \frac{M}{m} V)^2 + \frac{1}{2} M(\nu_0 - \frac{M}{m} V)^2$	$\frac{1}{2} m\omega^2 = \frac{1}{2} m(\nu_0 - \frac{M}{m} V)^2 + \frac{1}{2} M V^2$
90	251(3)	(不等号について)	(>を≥に変更します (計4箇所。))
108	302	( $v$ - $x$ グラフの縦軸の根号内)	( $x$ を削除します。)
142	389 (4)	$2.5 \times 10^3 \pi t$	(「 $2.5 \times 10^3 t$ 」として、 $\pi$ を取ります (計4箇所。))
142	側注 392	(「392 センサーA, B, C」について)	(このヒントは問 392 ではなく、問 393 のものです。)
147	399(3)	(式③中) $V_2$	$V^2$
184	501(4)	(下から4行目の式中) $(\frac{M_1 V_1}{M_1})^2$	$\frac{(M_1 V_1)^2}{M_1}$